



2019年度



立命館アジア太平洋大学孔子学院

第六期

神戸輝夫の

# 二豊漢学講座

大分県の文化的土壌の底層には二豊(豊前・豊後)の各地で花開いた漢学が息づいています。漢学とは特に江戸時代に学ばれた中国伝来の学問の総称です。具体的には哲学、歴史学、文学、地理学、漢方(医学)、本草学、天文学、数学、農学、書道、絵画、武術などの分野に及んでいます。この講座では、引き続き二豊の著名な漢学者について紹介します。

第1回 5月24日(金)14:00～15:30 三浦梅園と賀来元龍(その一)

第2回 6月28日(金)14:00～15:30 三浦梅園と賀来元龍(その二)

第3回 7月19日(金)14:00～15:30 白杵藩の儒者 吉田臥龍(正敦)



講師 神戸 輝夫 元APU孔子学院 学院長

元APU孔子学院学院長、前APU教授、大分大学名誉教授

1939年4月 京都生まれ

1964年3月 京都大学文学部史学科(東洋史学専攻)卒業

1966年3月 京都大学大学院文学研究科修士課程修了

1970年3月 同博士課程単位取得満期退学

大分大学教育学部長、放送大学大分学習センター長などを歴任。

主な研究分野は、中国における漢族と少数民族の摩擦問題、

アジア・太平洋戦争期における日本の中国文化侵略、

大友宗麟時代の中国・朝鮮・東南アジア交流史研究、

シルクロード文化史研究。

2017年11月 瑞宝中綬章 受章

会場

J:COMホルトホール大分

【第1回】201・202会議室、【第2回】大会議室、【第3回】302・303会議室

定員

各100名(各回ごとに事前申込が必要です・先着順)

入場料

無料 ※講義時間は90分、開場は各回30分前からとなります。

共催 立命館アジア太平洋大学孔子学院、日本中国友好協会大分支部

後援 大分合同新聞社

お問合せ・お申込は、立命館アジア太平洋大学孔子学院 電話0977-78-1188

## 第六期神戸輝夫の二豊漢学講座 講義内容のご案内

第一回 5月24日(金)14:00～15:30

### 三浦梅園と賀来元龍(その一)

三浦梅園(1723～1799)は17歳で国東から中津に出て儒学者藤田敬所について学んだ。その時の同学が賀来元龍(1716～1784)である。賀来元龍の実家は裕福な商家(醸造業)であり、元龍は家業の傍ら勉学にいそしみ梅園の親友となる。二人が交換し合った漢詩をまとめた『二豊唱和録』(梅園著)は友情の結実である。



国東市三浦梅園資料館 所蔵

第二回 6月28日(金)14:00～15:30

### 三浦梅園と賀来元龍(その二)

梅園と元龍の交流は元龍が亡くなるまで続いた。元龍の墓碑銘は梅園が書いている。生涯を通じて変わらなかった二人の晩年の交流を遺された漢詩や紀行文などから追ってみる。



白杵城(撮影：神戸輝夫先生)

第三回 7月19日(金)14:00～15:30

### 白杵藩の儒者 吉田臥龍(正敦)

吉田臥龍は慶安2年(1649)に白杵に生まれ享保10年(1725)に亡くなった。白杵藩初期の儒学者であり多くの後進を育てた。その代表は儒学者莊田子謙(1697～1754)である。子孫が『遺稿』などを刊行しているが、1965年に久多羅木儀一郎氏が『白杵史談』に年譜を紹介した位でその業績は余り知られていない。

※定員は、各回100名(申込み順)です。事前申込みが必要になりますので、ご希望の方は下記事務局までご連絡ください。

**秋の講座(予告)** 下記の日程は予定です。詳細は決まり次第、お知らせいたします。

第四回 10月25日(金) 『岡藩の儒者 伊藤鏡河』

第五回 11月29日(金) 『廣瀬旭荘と別府温泉』

**お問合せ・お申込**

11月の日程が変更になりました。

立命館アジア太平洋大学孔子学院事務局

Tel.0977-78-1188 Fax.0977-78-1189 E-mail.confuapu@apu.ac.jp

URL:<http://apu-Confucius.com/>